

挑戦と勇気

石本 恵梨奈
愛甲 雅治
石田 万音
山口 直矢
吉原 正明
林 恋幸
齋藤 大哉
高橋 望
豊田 ころろ
増田 絢香

Junior All-Japan Bowling Games 2021

成功が約束された挑戦はないし、失敗が怖くないわけでもないけど、これまで頑張ってきたのに挑戦できないのは悲しいこと。大会が消えかけながらも実現して、それでも多くの困難が立ちはたかる中、勇気を出して挑戦したジュニアボウラーたちに拍手を！そして挑戦できなかった選手も、つらい決断をした勇気に誇りを持ってください。

index

2～3面 2020年度全日本小学生競技大会
4面 第44回全日本中学選手権大会
5面 第44回全日本高校選手権大会
6～8面 第53回全日本シニア選手権大会

第52回 全日本大学 個人ボウリング選手権大会

2021.2.18 木 ▶ 20 土

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
協力 日本ボウリング機構 (JBO)
主管 全日本学生ボウリング連合 関西学生ボウリング連盟

キョーイチボウル宇治
〒611-0042 京都府宇治市小倉町神楽田55-1 TEL 0774-22-5524
<http://www.matsubara-kosan.co.jp/hall/bwl01.html>

第46回 経済産業大臣杯 全日本実業団産業別 ボウリング選手権大会

2021.2.27 土 ▶ 28 日

主催：公益財団法人 全日本ボウリング協会
後援：公益財団法人 京都府スポーツ協会
協力：日本ボウリング機構 (JBO)
主管：全日本実業団ボウリング連合、一般社団法人京都府ボウリング連盟

キョーイチボウル宇治
〒611-0042 京都府宇治市小倉町神楽田55-1 TEL 0774-22-5524
ラピュタボウル宇治東
〒611-0013 京都府宇治市菟道平町28-1 アルプラザ宇治東3F TEL 0774-31-2570

2020年度 全日本小学生競技大会

Junior All-Japan Bowling Games 2021

JOCジュニアオリンピックカップ第44回全日本高校選手権大会、文部科学大臣杯第44回全日本中学選手権大会が1月9日(土)から、2020年度全日本小学生競技大会が1月10日(日)から、愛知・稲沢グランドボウル(公競No.122・064)で開催された。それぞれ2020年夏に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症のため延期、半年を経て開催が実現した。

1月11日(月・祝)の最終日には3大会の決勝が同時に行われ、今年度の小学生、中学生、高校生チャンピオンが決定した。



開会式で挨拶する北川薫協会会長

ガイド 小学4・5・6年生を対象に、学年・男女別に優勝を争う全日本小学生競技大会。予選6ゲーム(前後半各3ゲーム)と決勝3ゲームの計9ゲームを投球する。今大会では2部門で大会新記録が誕生。記録保持者が6名とも同じ会場にいる中での記録更新となった。

We are the champions!

4年生女子の部・林恋幸



5年生女子の部・増田絢香



6年生女子の部・豊田こころ



4年生男子の部・高橋望



5年生男子の部・齋藤大哉



6年生男子の部・山口直矢

4年生女子の部

予選前半、林恋幸(愛知)が667の高スコアを叩き出した。2位に171ピン差をつけると、後半も全

体トップの570をマークして独走態勢に入った。

大会新記録も視野に入った林は、決勝戦では468と振るわなかったが記録を44ピン上回って優勝を決めた。

4年生男子の部

高橋望(茨城)は590で予選前半トップに立った。後半では中田元輝(東京)が570をマーク、高橋と18ピン差に迫った。

決勝戦、高橋は1ゲーム目の210で中田を引き離すと、115ピンの大差で優勝を果たした。

5年生女子の部

予選前半568でトップの井上夢望(愛知)は、後半も591と打ち上げて1位通過を決めた。

6位で通過した増田絢香(愛知)は決勝1ゲーム目に234をマーク。2ゲーム目を終えて井上とは依然61ピン差がついていたが、最終ゲームの244で大逆転を遂げた。

5年生男子の部

土肥大輔(岡山)は予選前半661、後半も666の高スコア。2位の齋藤大哉(埼玉)に48ピンの差をつけた。

決勝では1ゲーム目に齋藤が9ピン差まで一気に詰めると、2ゲーム目は土肥が221を打つも齋藤は237で逆転。7ピン差で迎えた最終ゲームは両者200台と好勝負の結果、齋藤に軍配が上がった。

6年生女子の部

予選前半は押切絢音(愛知)の585を筆頭に、6位まで13ピンの僅

小学4年生女子の部



準優勝の植田円香



第3位の井崎香澄

6年生男子の部

差。後半も押切は612をマークしたが、623を打った豊田こころ(愛知)も1197の同点で並んだ。

決勝戦では豊田が212・226と好ゲームを連発して引き離し優勝を遂げた。

両者の差は9ピン。山口は1ゲーム目の257でリードを一気に広げると、最終ゲームも244。大会記録を130ピンも上回る2114(アバレージ234)の大記録を打ち立てた。

小学4年生男子の部



第4位の原田彩花



第5位の坂田愛実



第6位の堀紗矢香



準優勝の中田元輝



第3位の竹渕喬音



第4位の須田光翼



第5位の相原孝祐

小学5年生女子の部



第6位の中川結雅



第7位の佐藤伶星



第8位の森海斗



第9位の都築遼悟



第10位の大蔵千空



準優勝の井上夢望



第3位の代田惟



第4位の小坂汎



第5位の網代煌羅



第6位の岡田結衣



第7位の山下紗衣



第8位の本田心優



第9位の田口みちる



第10位の鈴木渚璃音

EXTREME Bowling Match

Presented by **phiten**

全日本高校・中学・小学生大会が初めて同時開催されたのを記念して、チャンピオン総勢10名によるエキシビジョンマッチ「EXTREME Bowling Match Presented by Phiten」が大会最終日に行われました。

チームボーイズとチームガールズに分かれ、それぞれ5名の選手によるハイカー方式1ゲームマッチで勝負しました。全日本高校選手権の元チャンピオンでもある川添奨太プロ、松永裕美プロもチーム監督として試合を盛り上げました。

エキシビジョンマッチの様子は、JBC公式YouTubeチャンネルで2月公開予定で



https://www.youtube.com/user/JapanBowlingCongressで2月公開

EXTREME Bowling Match Presented by Phitenは、ファイテン株式会社の協賛により実施いたしました。また全日本高校・中学・小学生大会の入賞者には、ファイテン株式会社より副賞が贈呈されました。

小学5年生男子の部→



準優勝の土肥大輔 第3位の多胡陽葵 第4位の吉富孔梯



第5位の五月女瑛太 第6位の仲田功汰 第7位の菊地秀宜

小学6年生女子の部→



第8位の鶴巻康介 第9位の真田怜祐 第10位の伏見大雅 準優勝の押切絢音 第3位の藤田妃夏 第4位の本橋江莉 第5位の中岡凜音

小学6年生男子の部→



第6位の古正友菜 第7位の岡本うた 第8位の石田結梨 第9位の鈴木千智 第10位の加藤碧唯 準優勝の山中麗 第3位の高橋颯太



第4位の立花仁貴 第5位の原理人 第6位の山本朔太郎 第7位の田中晴翔 第8位の齋藤直人 第9位の林大夢 第10位の高橋宏輔

2020年度全日本小学生ボウリング競技大会成績表

2021年1月10日(日)~11日(月・祝) 会場：愛知・稲沢グランドボウル

参加：130名

《小学6年生男子の部 (96)》		35名
優勝	山口直矢 (京都府)	亀岡市立千代川小学校 *2,114
準優勝	山中麗 (茨城県)	坂東市立七重小学校 1,993
第3位	高橋颯太 (兵庫県)	伊丹市立萩野小学校 1,928
第4位	立花仁貴 (愛知県)	伊丹市立萩野小学校 1,854
第5位	原理人 (愛知県)	清須市立西枇杷丘小学校 1,843
第6位	山本朔太郎 (岐阜県)	清須市立西枇杷丘小学校 1,811
第7位	田中晴翔 (静岡県)	湖西市立鷺津小学校 1,805
第8位	齋藤直人 (群馬県)	藤岡市立平井小学校 1,804
第9位	林大夢 (愛知県)	一宮市立三条小学校 1,786
第10位	高橋宏輔 (茨城県)	取手市立取手西小学校 1,784
ハイゲーム	山口直矢 (京都府)	亀岡市立千代川小学校 266
《小学5年生男子の部 (96)》		29名
優勝	齋藤大哉 (埼玉県)	川口市立戸塚東小学校 1,944
準優勝	土肥大輔 (岡山県)	岡山市立鹿田小学校 1,938
第3位	多胡陽葵 (群馬県)	安中市立秋間小学校 1,786
第4位	吉富孔梯 (岡山県)	岡山市立高島南小学校 1,754
第5位	五月女瑛太 (岡山県)	川口市立上青木南小学校 1,696
第6位	仲田功汰 (東京都)	三鷹市立第一小学校 1,691
第7位	菊地秀宜 (神奈川県)	相模原市立大野台小学校 1,689
第8位	鶴巻康介 (神奈川県)	精華小学校 1,688
第9位	真田怜祐 (三重県)	四日市市立三重北小学校 1,671
第10位	伏見大雅 (神奈川県)	横浜市立西金沢学園 1,660
ハイゲーム	土肥大輔 (岡山県)	岡山市立鹿田小学校 256
《小学4年生男子の部 (96)》		15名
優勝	高橋望 (茨城県)	ひたちなか市立中根小学校 1,679
準優勝	元輝 (東京都)	八王子市立城山小学校 1,564
第3位	竹淵喬音 (群馬県)	高崎市立西小学校 1,526
第4位	須田光寛 (神奈川県)	日本大学藤沢小学校 1,524
第5位	相原孝祐 (神奈川県)	藤沢市立鶴沼小学校 1,510
第6位	川結雅 (埼玉県)	開智学園総合部 1,449
第7位	佐藤倫彦 (群馬県)	前橋市立わかば小学校 1,431
第8位	森海斗 (岐阜県)	岐阜市立長森東小学校 1,385
第9位	都築遠悟 (愛知県)	安城市立桜井小学校 1,377
第10位	大蔵千空 (東京都)	文教大学附属小学校 1,364
ハイゲーム	高橋望 (茨城県)	ひたちなか市立中根小学校 223

《小学6年生女子の部 (96)》		25名
優勝	豊田こころ (愛知県)	一宮市立向山小学校 1,814
準優勝	押切絢音 (愛知県)	春日井市立西山小学校 1,699
第3位	藤田妃夏 (東京都)	渋谷区立西原小学校 1,635
第4位	本橋江莉 (神奈川県)	厚木市立愛三小学校 1,597
第5位	中岡凜音 (埼玉県)	練馬区立第三小学校 1,586
第6位	古正友菜 (神奈川県)	大和市立深見小学校 1,576
第7位	岡本うた (神奈川県)	大和市立深見小学校 1,550
第8位	石田結梨 (群馬県)	高崎市立下里見小学校 1,544
第9位	鈴木千智 (静岡県)	沼津市立大岡南小学校 1,537
第10位	加藤碧唯 (岐阜県)	各務原市立藤原第一小学校 1,531
ハイゲーム	豊田こころ (愛知県)	一宮市立向山小学校 258
《小学5年生女子の部 (96)》		20名
優勝	増田絢香 (愛知県)	豊橋市立應丘小学校 1,697
準優勝	井上夢望 (愛知県)	瀬戸市立水野小学校 1,663
第3位	惟 (東京都)	文京区立昭和小学校 1,654
第4位	坂田 (東京都)	大田区立大森第五小学校 1,614
第5位	網代 (神奈川県)	秦野市立第三小学校 1,533
第6位	岡田結衣 (愛知県)	春日井市立不二小学校 1,467
第7位	山下紗衣 (宮城県)	気仙沼市立九条小学校 1,449
第8位	本田心優 (神奈川県)	横浜市立司剛小学校 1,443
第9位	鈴木口みちる (愛知県)	名古屋市立白木小学校 1,419
第10位	代田 惟 (埼玉県)	吉川市立美南小学校 1,394
ハイゲーム	代田 惟 (埼玉県)	吉川市立美南小学校 216
《小学4年生女子の部 (96)》		6名
優勝	林 恋幸 (愛知県)	一宮市立三条小学校 *1,705
準優勝	田 四香 (神奈川県)	町田市立藤の台小学校 1,546
第3位	崎 彩澄 (茨城県)	ひたちなか市立前渡小学校 1,335
第4位	原 彩花 (愛知県)	ひたちなか市立下津小学校 1,278
第5位	坂田 愛実 (奈良県)	香芝市立鎌田小学校 1,217
第6位	堀 紗久香 (岐阜県)	羽島市立竹鼻小学校 1,036
ハイゲーム	林 恋幸 (愛知県)	一宮市立三条小学校 251



4年生女子・林恋幸 4年生男子・高橋望

5年生女子・代田惟 5年生男子・土肥大輔

6年生女子・豊田こころ 6年生男子・山口直矢

ハイゲーム賞

Junior All-Japan Bowling Games 2021

文部科学大臣杯 第44回全日本中学選手権大会



男子優勝の愛甲雅治



女子優勝の石田万音

稲沢で凱旋V

愛甲雅治	宮崎大学教育学部附属中 宮崎県	15歳
使用ボール	Sword Nano X(15p3oz)	
公認ドライヤー	新庄好和 (公認No. 0533-45)	
石田万音	神戸市立西神中 兵庫県	15歳
使用ボール	Crystal PhisiX(15p3oz)	
公認ドライヤー	山下陽平 (公認No. 1182-28)	

男子の部

予選1回戦は増田優希(愛知)が758でトップ。松尾将希(愛知)が9ピン差で追った。6位につけた愛甲雅治(宮崎)は2回戦で741とし、増田を13ピン上回って首位に立った。

4位までが1400台、愛甲と3マーク差という接戦を迎えた3回戦で、愛甲は2ゲーム目に290。2位に浮上した内藤広人(静岡)を63ピンリードした。決勝戦も243でスタートした愛甲

女子の部

砂川舞佳(沖縄)の693を筆頭に、トップ5は1マークずつあけて並んだ1回戦。石田万音(兵庫)は連覇に向けて好位置の3位につけると、2回戦も686をマークして首位を奪った。酒井愛(愛知)が5ピン差につけて、1300台の高スコアが入圏外まで続いた。

3回戦では、5位につけていた濱崎りりあ(横浜)が290を含む741をマークして石田を逆転した。その差はわずか8ピン、石田と3位の緒方彩音(大阪)は16ピン差で、優勝争いは決勝戦へ。

は、2ゲーム目でスコアを落とすもシリーズ61でトップを守り抜いた。



男子準優勝の内藤広人



女子準優勝の濱崎りりあ

1ゲーム目で濱崎に1ピン差まで詰め寄った石田は、2ゲーム目の252で再びトップに。スコアを落とした濱崎は74ピン差をつけられてしまうが、最終ゲームに258と勝負をかけた。しかし石田は198で凌ぎ、大会連覇&新記録の快挙を遂げた。



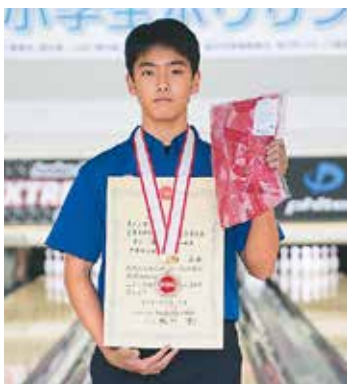
男子第3位の増田優希



女子第3位の砂川舞佳



女子第6位の渡辺希哩



男子第4位の座波政斗



女子第4位の近藤真桜



女子第7位の緒方彩音



男子第5位の山下鈴響



女子第5位の酒井愛



女子第8位の後藤光々音



男子第6位の林優輝



男子第7位の堤山航



男子第8位の森下元喜

ガイド

中学生日本一を争う全日本中学選手権大会。男女それぞれ優勝者には文部科学大臣杯が授与される。

予選は3ゲーム×3回戦を行い、男子上位18名、女子上位18名が決勝に進出。さらに3ゲームを行い、12ゲームの総得点で順位を決定する。

男子優勝の愛甲雅治選手と女子優勝の石田万音選手は、第7回全日本小学生競技大会(2016年)でも同時優勝している。また石田選手は今回連覇を達成。歴代優勝者のうち、女子で連覇の経験者は石田選手を含め4名となった。



男子HG・HSの我那覇怜



女子HGの濱崎りりあ



女子HSの大野萌葉

文部科学大臣杯 第44回全日本中学ボウリング選手権大会 成績表

2021年1月9日(土)~11日(月・祝)
会場:愛知・稲沢グランドボウル
男子105名 女子56名 計161名

《男子(126)》

優勝	愛甲雅治(宮崎)	宮崎大学教育学部附属中学校	3年	2,769
準優勝	内藤広人(静岡)	浜松市立与進中学校	2年	2,715
第3位	増田優希(愛知)	豊橋市立東陵中学校	2年	2,695
第4位	座波政斗(沖縄)	那覇市立城北中学校	3年	2,686
第5位	山下鈴響(東京)	中野区立南中野中学校	1年	2,667
第6位	林優輝(愛知)	一宮市立尾西第一中学校	1年	2,665
第7位	堤山航(三重)	鈴鹿市立神戸中学校	3年	2,658
第8位	森下元喜(三重)	津市立豊里中学校	2年	2,624
ハイゲーム	我那覇怜(沖縄)	宜野湾市立真志喜中学校	2年	299
ハイシリーズ	我那覇怜(沖縄)	宜野湾市立真志喜中学校	2年	764

《女子(126)》

優勝	石田万音(兵庫)	神戸市立西神中学校	3年	*2,707
準優勝	濱崎りりあ(神奈川)	横浜市立原中学校	3年	2,693
第3位	砂川舞佳(沖縄)	那覇市立鏡原中学校	2年	2,665
第4位	近藤真桜(群馬)	太田市立西中学校	3年	2,636
第5位	酒井愛(愛知)	愛知工業大学名電中学校	3年	2,633
第6位	渡辺希哩(群馬)	前橋市立第六中学校	3年	2,598
第7位	緒方彩音(大阪)	堺市立浜寺南中学校	3年	2,558
第8位	後藤光々音(茨城)	龍ヶ崎市立城ノ内中学校	3年	2,491
ハイゲーム	濱崎りりあ(神奈川)	横浜市立原中学校	3年	290
ハイシリーズ	大野萌葉(群馬)	前橋市立富士見中学校	2年	752

*...大会新記録

JOCジュニアオリンピックカップ Junior All-Japan Bowling Games 2021

第44回全日本高校選手権大会



男子優勝の吉原正明

女子優勝の石本恵梨奈

決勝戦で圧倒

男子の部

予選1回戦、水野紘大(大阪)と小川諒也(東京)が780台に乗せて一歩リードし、3位から5位も740台と好スコア。続けて行われた2回戦では、久富木広(鹿児島)がパーフェクトを決めて738とし、13位から一気に首位に躍り出た。

5位までが1400UPして迎えた3回戦、4位につけていた吉原正明(埼玉)は772と打ち上げて1位通過を決めた。2位の田口智博(愛知)は47ピ

高校生の個人日本一決定戦。優勝者にはJOCジュニアオリンピックカップが授与される。予選は3ゲーム×3回戦を行い男子24名、女子18名が決勝に進出。さらに3ゲームを投球して12ゲームのトーナルピンで優勝を争う。

ガイド

今大会の優勝者は男女とも、同じ稲沢ランドボウルで開催されている全日本小学生競技大会に4年時から出場歴があり、吉原正明選手は優勝1回・準優勝2回、3位1回の好成績を収めている。

女子の部

石本恵梨奈(大阪)と中島瑞葵(福岡)がともに1回戦から279の好ゲーム。石本が742で首位、中島は724で2位発進した。石本は2回戦も723と好調で、711とし2位に浮上した立花沙貴(兵庫)に70ピン差をつけて折り返した。

3回戦では立花が683とし、638に留まった石本に25ピン差まで迫った。岩元美咲希(愛知)は721をマークして3位につけた。

決勝1ゲーム目上位3名はそろってスコアを落とし、2ゲーム目で岩元は238とし、石本との差を54ピンまで縮めた。最終ゲームで石本はスタートからストライクラッシュ。惜しくもパーフェクトとはならなかったが299で、独走を遂げた。

吉原正明	県立川越西高	埼玉県	17歳
使用ボール	PhysiX(15p2oz)		
公認ドライバー	佐取 賢 (公認No. 1366-11)		
石本恵梨奈	大阪成蹊女子高	大阪府連盟	
全日本ユースナショナルチームメンバー	17歳		
使用ボール	Astro PhysiX(15p3oz)		
公認ドライバー	真井寛樹 (公認No. 1127-27)		



男子準優勝の田口智博

男子第3位の石川巧真

男子第4位の木村光希

男子第5位の石田智輝

男子第6位の久富木広

女子準優勝の岩元美咲希

女子第3位の中島瑞葵

女子第4位の近藤菜帆

女子第5位の立花沙貴

女子第6位の中島望結

JOCジュニアオリンピックカップ 第44回全日本高校ボウリング選手権大会 成績表

2021年1月9日(土)~11日(月・祝) 会場: 愛知・稲沢ランドボウル
男子135名 女子68名 計203名

《男子(12G)》

優勝	吉原正明(埼玉)	県立川越西高等学校	2年	2,950
準優勝	田口智博(愛知)	名古屋工業高等学校	2年	2,823
第3位	石川巧真(岐阜)	岐阜聖徳学園高等学校	2年	2,730
第4位	木村光希(神奈川)	湘南学院高等学校	2年	2,725
第5位	石田智輝(大阪)	大阪商業大学高等学校	3年	2,711
第6位	久富木広(鹿児島)	鹿児島県立蒲生高等学校	3年	2,695
H/G-M	菅原奏(岩手)	盛岡市立高等学校	1年	300
H/G-M	久富木広(鹿児島)	鹿児島県立蒲生高等学校	3年	300
H/G-S	水野紘大(大阪)	大阪府立布施北高等学校	3年	784

《女子(12G)》

優勝	石本恵梨奈(大阪)	大阪成蹊女子高等学校	2年	2,784
準優勝	岩元美咲希(愛知)	名古屋市立若宮商業高等学校	3年	2,665
第3位	中島瑞葵(福岡)	飯塚高等学校	1年	2,654
第4位	近藤菜帆(愛知)	愛知県立三好高等学校	2年	2,639
第5位	立花沙貴(兵庫)	兵庫県立宝塚東高等学校	3年	2,637
第6位	中島望結(佐賀)	佐賀県立佐賀北高等学校	2年	2,632
H/G-M	中島瑞葵(福岡)	飯塚高等学校	1年	279
H/G-M	石本恵梨奈(大阪)	大阪成蹊女子高等学校	2年	279
H/G-S	石本恵梨奈(大阪)	大阪成蹊女子高等学校	2年	742



男子HGの菅原奏(左)、久富木広

男子HSの水野紘大

女子HG・HSの石本恵梨奈

女子HGの中島瑞葵

菅原奏	盛岡市立高	岩手県	16歳
使用ボール	PhysiX Power Elite(15p3oz)		
公認ドライバー	今出川篤史 (公認No. 1522-03)		
久富木広	県立蒲生高	鹿児島県	18歳
使用ボール	Phaze III(16p)		
公認ドライバー	山口良太 (公認No. 1906-46)		

菅原と久富木が達成
第44回全日本高校選手権大会において、菅原奏選手(岩手)、久富木広選手(鹿児島)が大会第30・31号となるパーフェクトゲームを達成。協会主催大会公認第487・488号として認定された。



第53回全日本シニア選手権大会

男子シニア

2人チーム戦は前半トップと126ピン差の16位で折り返した神奈川A(斎藤・村上)が後半1355をマークして大逆転V。個人戦は選手権者2連覇中の吉本隆夫(熊本)が772でトップに立ったが、その7ピン差で2位につけた川島徹(神奈川)が後半653にまとめて逆転優勝を決めた。

個人戦準優勝の山中徹治(東京)が12ゲーム終了時点で首位に立ち選手権者決定戦へ。2位には3名が53ピン差の同点で並んだ。その中の一人、梅田久徳(三重)が最終ゲームを前に18ピン差まで追ってきたが、ラストで253を決めた山中が逃げ切った。

女子シニア

2人チーム戦、三重A(山本・柳川)は前半に1355のビッグスコアをマーク。後半も全体1位の点数で他を圧倒した。個人戦では大井典子(岡山)が700UPで折り返したが、69ピン差で4位につけた吉田由美子(埼玉)が後半675とスコアを伸ばし、6ピン差で優勝を奪った。

選手権者決定戦には2人チーム優勝メンバーの柳川穂波(三重)がトップ通過。8ピン差で吉田が続き、3位の西村沙池子(愛知)までが2500台に乗せて接戦となった。1ゲーム目に西村が220で首位に立つと、2ゲーム目には吉田が241、25ピンリードした吉田は最終ゲームも200にまとめて、2種目制覇を果たした。

男子ハイシニア

2人チーム戦、前半は三重A(伊藤・中村)が1283でトップに立った。後半も1215とプラスに乗せたが、東京B(松原・富山)が1350と大きく打ち上げて、12ピン差を逆転して見せた。

個人戦では西林康憲(千葉)が前半732、2位の三嶋正志(神奈川)を33ピンリードして迎えた後半も654にまとめて優勝を決めた。

選手権者決定戦は木村賢司(岡山)が7723でトップ通過すると、3ゲームともプラスにまとめて優勝を果たした。

女子ハイシニア

2人チーム戦で埼玉A(植竹・唐津)は前半1219をマーク。1200で2位につけた栃木A(伊東湯本)は後半、最終ゲームの426で埼玉Aを逆転し優勝を奪った。

個人戦では伊東千枝子(栃木)が2人チーム戦に続いて好調、前半659をマークした。しかし後半はスコアを落としてしまう。混戦となった優勝争いは、621と打ち上げた湯本友子(栃木)が制した。

伊東が選手権者決定戦へトップ通過するも、2位の平田千鶴子(岡山)とは17ピン差の接戦。最終ゲームを残して伊東は平田と25ピン差をキープしたが、澤田英子(三重)には15ピン差まで追られた。最終ゲームは澤田が203、平田は213をマーク。一方の伊東は190で、辛くも2ピン差を残し逃げ切った。

男子シニア選手権者決定戦



女子シニア選手権者決定戦



男子ハイシニア選手権者決定戦



女子ハイシニア選手権者決定戦



男子シニアHG 一佛朋亮

男子シニアHS 吉本隆夫

女子シニアHG 針谷洋子

女子シニアHS 柳川穂波

男子ハイシニアHG 三嶋正志

男子ハイシニアHS 西林康憲

女子ハイシニアHG・HS 伊東千枝子

男子マスターズシニア



優勝の清水丈夫

準優勝の播本雄輔

第3位の山中俊明

第4位の栗林隆行

第5位の磯部恭万

第6位の鈴木光式

女子マスターズシニア



優勝の篠田ひろみ

準優勝の板垣愛子

第3位の小池和美

男子マスターズシニア

清水丈夫(福岡)は1回戦で678をマークすると、2回戦も626。ローゲームでも190という好スコアメイクで、2位の栗林隆行(三重)を83ピンリードした。3回戦も620と播るが清水は清水だったが、決勝戦ではスコアを落とし、2位通過の播本雄輔(京都)に38ピン差まで詰め寄せられた。最終ゲーム、播本は22と逆転を狙ったが、清水も20と粘り17ピン差を残して優勝した。

女子マスターズシニア

1回戦は板垣愛子(静岡)がトップ。6ピン差で篠田ひろみ(京都)が、さらに20ピン差で小池和美(京都)が続いた。篠田は2回戦で582と打ち上げて板垣を抜いた。3回戦も3名中トップのスコアを残した篠田は、板垣に63ピン差をつけて決勝戦へ。529にまとめてリードを広げると、大会優勝経験のある名を抑えて初制覇を果たした。



男子HGの栗林隆行

男子HSの清水丈夫

男子HSの播本雄輔

女子HG・HSの篠田ひろみ

最高年齢者と出場回数達成者を表彰

全日本シニア選手権大会では、毎回出場中最高齢の選手を表彰。今大会では男子は三谷繁雄選手(京都/昭和5年生まれ90歳)、女子は板垣愛子選手(静岡/昭和12年生まれ83歳)が表彰されました。また前回大会までに出場回数が10回を超えた選手を、5回ごとに表彰する「出場回数表彰」は38選手が対象に。賞状とシニアオノラーウィッペン(15回以上の選手のみ)が贈呈されました。

【表彰対象者】

- ▽35回出場 麻田倍男(奈良)
▽30回出場 松原宏仁(兵庫)、原章代(兵庫)
▽25回出場 板垣愛子(静岡)
▽20回出場 澤田順子(宮城)、浅田俊夫(千葉)、倉橋敏夫(千葉)、高橋賢二(神奈川)、高本正子(愛知)、大貫璋泰(大分)
▽15回出場 熊谷芳行(宮城)、植竹貞子(埼玉)、岩月文彦(愛知)、佐野弘子(京都)、小野年明(愛媛)
▽10回出場 滝沢靖子(埼玉)、野澤俊之(千葉)、齊藤恵美子(東京)、岩崎正光(神奈川)、小林瑞恵(長野)、後藤寿実子(愛知)、佐藤為芳(愛知)、高須寛(愛知)、西村沙池子(愛知)、西村由彦(愛知)、中川みち子(滋賀)、蓬萊富蔵(京都)、森垣勉(大阪)、山本恭司(大阪)、富田進(兵庫)、仲植広宣(兵庫)、田辺雅亨(広島)、鈴木浩二(広島)、山中豊海(高知)、富高あつ子(福岡)、矢野辰善(熊本)、浅野彰子(大分)、緒方正(大分)

全日本シニア選手権大会は50歳以上の選手を対象とした大会。シニア(50歳以上)、ハイシニア(65歳以上)、マスターズシニア(75歳以上)の3年代、全て男女別の6部門が設定されている。シニアとハイシニアは2人チーム戦(6ゲーム)、個人戦(6ゲーム)を行い、2種目の個人成績上位者が選手権者決定戦に進出。さらに3ゲームを投球して、合計15ゲームの総得点で選手権者を決定する。マスターズシニアは個人戦で、予選9ゲーム、決勝3ゲームの合計スコアで優勝者を決定する。この大会は(公財)ミズノスポーツ振興財団の助成を得て開催しています。

第53回全日本シニアボウリング選手権大会 成績表

参加：男子シニア部門 75名、男子ハイシニア部門 66名、女子シニア部門 34名、女子ハイシニア部門 23名、マスターズシニア部門 男子14名、女子3名 合計 215名 2020年1月12日(火)~14日(木) 愛知・稲沢グランドボウル

Table with 4 columns: 《男子シニア》(50歳~74歳), 《男子ハイシニア》(65歳~74歳), 《女子シニア》(50歳~64歳), 《女子ハイシニア》(65歳~74歳). Each column lists winners, runners-up, and other participants with their scores and names.

山中徹治	
男子シニア	東京都 62歳
使用ボール	Physix Power Elite(15p4oz)
公認ドライバー	山本 勲 (公認No. 1548-14)
吉田由美子	
女子シニア	埼玉県 60歳
使用ボール	Nanodesu Accu-Line Tour PremiumIV(15p3oz)
公認ドライバー	牧 直宏 (公認No. 1888-11)

木村堅司	
男子ハイシニア	岡山県 74歳
使用ボール	Phaze III SE(15p1oz)
公認ドライバー	小田 啓 (公認No. 1235-33)
伊東千枝子	
女子ハイシニア	栃木県 66歳
使用ボール	Zing(14p3oz)
公認ドライバー	黒羽正行 (公認No. 0091-09)

清水丈夫	
男子マスターズシニア	福岡県 81歳
使用ボール	Axiom(15p4oz)
公認ドライバー	山下 豊 (公認No. 0184-40)
篠田ひろみ	
女子マスターズシニア	京都府 77歳
使用ボール	Jackal(Flash)(14p)
公認ドライバー	西谷逸夫 (公認No. 0951-26)

コロナ禍でもハッスル!



山中 吉田 木村 伊東 篠田 清水



開会式で挨拶する北川薫協会会長

第53回全日本シニア選手権大会が1月12日(火)から14日(木)にかけて、愛知・稲沢グラウンドボウル(公認No.122-064)で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により昨年6月に予定していた大会を1月に延期して開催。215名の選手が出場し実力を競いました。

女子シニアの部で吉田由美子(埼玉)が個人2冠を獲得し、女子ハイシニアの部は伊東千枝子(栃木)が大接戦の末頂点に立ちました。男子シニアの部は山中徹治(東京)が、男子ハイシニアの部では木村堅司(岡山)が初の選手権者に輝きました。マスターズシニアの部では、男子は清水丈夫(福岡)、女子は篠田ひろみ(京都)がともに初優勝を遂げました。

第53回全日本シニア選手権大会



2人チーム戦優勝者



女子シニア(三重A)



男子ハイシニア(東京B)



女子ハイシニア(栃木A)

2020年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2021年1月29日現在		リーグ公認件数
		競技会公認件数	開催実数	
北海道地区	北海道	13	50	6
	青森	28	49	
	岩手	25	59	
	宮城	26	69	
	秋田	3	5	
東北地区	山形	20	21	
	福島	20	20	
	茨城	13		
	栃木	12	23	
	群馬	18	45	10
関東地区	埼玉	37	28	
	千葉	22	36	7
	東京	18	29	15
	神奈川	22	19	20
	山梨	24	20	
北信越地区	新潟	17	37	1
	長野	23	68	
	富山	8	23	5
	石川	4	2	
	福井	4	2	
東海地区	静岡	36	102	8
	愛三	53		
	滋	33	81	
	岐	12	33	
	伊	29	65	
関西地区	京都	56	47	12
	大阪	20	20	4
	兵庫	23	20	21
	奈良	15	4	
	和歌山	11	16	
中国地区	取	9	15	
	根	6	2	1
	山	6	40	
	岡	15	13	6
	広島	12	20	18
四国地区	香	19	31	1
	徳	9	22	2
	愛	12	3	
	高	1	5	
	岡	36	36	61
九州・沖縄地区	福岡	4	35	10
	佐	25	32	52
	長	11	11	1
	熊	21	54	12
	大	19	52	13
全日本学生連合	総	6		1
	計	883	1,331	324



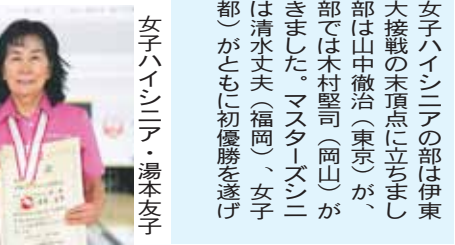
女子シニア(神奈川A)



男子シニア(川島徹)



男子ハイシニア(西林康憲)



女子ハイシニア(湯本友子)

個人戦優勝者

▽3月12日(金)~14日(日) JBC会長杯第36回全日本年齢別選手権大会 福島・ボウルピア郡山

▽3月18日(木)~20日(土) 第52回全日本大学個人選手権大会 京都・キョーイチボウル宇

イベントカレンダー

2月&3月

▽2月27日(土)~28日(日) 経済産業大臣杯第46回全日本実業団産業別選手権大会 京都・キョーイチボウル宇治、ラビユタボウル宇治東

▽3月12日(金)~14日(日) 全日本ナショナルチーム選考(参考記録)会 群馬・ドリームスタジアム太田

▽3月18日(木)~21日(日) 文部科学大臣杯第58回全日本選手権大会 愛知・稲沢グラウンドボウル

JBC公認ドライバー

2021年度更新受付開始

JBC公認ドライバーの2021年度資格更新手続きを開始しました。今年度よりオンラインフォームで更新手続きが可能で、有資格者の方には更新案内を郵送しておりますので、ご確認の上お手続きをお願いします。

また義務研修会(2018~2020年度に受講必須120)をご覧ください。

更新手続き、オンライン研修会のURLは、協会ホームページ(http://www.jbc-bowling.or.jp/topics/210120)をご覧ください。

全日本ナショナルチーム選考(参考記録)会 参加者受付中

2021年度全日本ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバーの選考(参考記録)会を、3月12日(金)から14日(日)にかけて群馬・ドリームスタジアム太田(公認No.110-036)で開催します。

2021年度は総勢48名をメンバーとして認定予定で、男女別に18歳以下、19歳から22歳、23歳以上の3区分で選考が行われます。また男女および各区分の認定者の約半数を強化合宿の参加対象等となる「エリートメンバー」とします。

選考(参考記録)会への参加には所属連盟の推薦が必要です。参加希望の方は所属連盟を通じてお申込みください。締切は2月19日(金)です。

スポーツくじ

toto FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI JAPAN

さあ、いい歳して、いい顔しよう。

概ね30歳以上なら、誰でも参加できる世界最大級のスポーツ祭。

ワールドマスターズゲームズ2021 KANSAI / JAPAN

2022年に延期!

開催期間 5月13日(金)~29日(日)

詳しくは、大会ホームページへ [wm g 2021](#) 検索